

沖縄西海岸道路

一般国道331号豊見城道路（豊見城市瀬長～豊崎間）

供用後約半年後の効果について

～～交通量が転換・売り上げ増加・交通渋滞緩和～～

平成18年2月25日に開通した沖縄西海岸道路の一区間、一般国道331号豊見城道路（豊見城市瀬長～豊崎間）について、供用後（約半年）の交通状況の変化等を測定しました。

近隣企業者の声も合わせて測定結果を公表します。なお、今後も引き続き豊見城道路の全線供用に向けて事業を推進しさらなる、効果発現を目指します。



問い合わせ先
沖縄総合事務局南部国道事務所

副所長 てるや まさふみ
照屋 正史

調査第一課長 さきま ひとし
崎間 斉

電話番号 098-861-2336

FAX番号 098-861-2454

沖縄西海岸道路 一般国道331号豊見城道路

豊見城市瀬長～豊崎間供用効果《約半年後》

- **交通量が転換**

国道331号(現道部)及び近隣道路の交通量が豊見城道路へ転換されました。

- **売り上げ増加**

観光客, 企業の進出や住宅の新築等が増えています。

- **交通渋滞緩和**

渋滞損失時間の減少。CO₂, NO_x, SPM排出量が削減されています！

◆ 那覇空港からアウトレットモールまでの旅行速度が4km/hアップ！

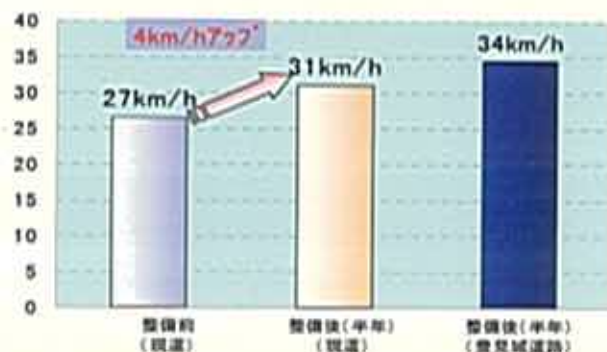
◆ 交差点の交通渋滞が緩和。

□ 那覇空港からアウトレットモールまでの旅行速度は、平日夕方17時台で、現道ルートは27km/hから31km/hへ4km/h速くなっている。

□ 与根交差点(仮称)の渋滞長及び通過時間60m、4分は、整備後(半年)、解消した。なお、今後も引き続き豊見城道路の全線供用に向けて事業を推進し更なる効果発揮を目指します。

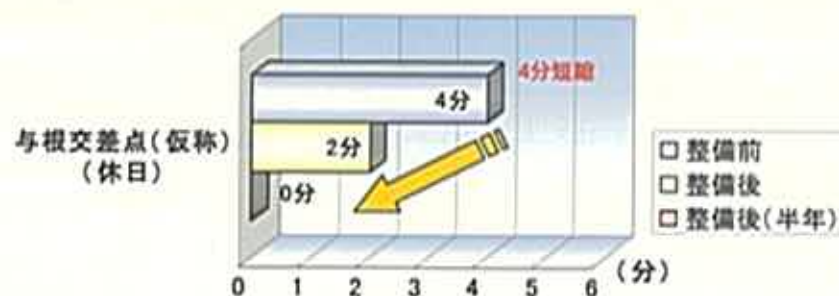
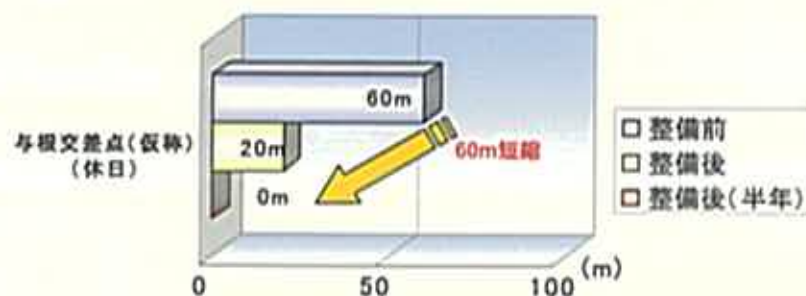
<調査日平日>整備前:H17_6月、整備後(半年):H18_10月

夕ピーク時旅行速度
(那覇空港～名基地～アウトレットモール)



□ 交差点の最大渋滞長と通過時間(分): 図中の一方向

<調査日休日>整備前:H17_8月、整備後:H18_3月、整備後(半年):H18_10月



○便利 那覇市街、空港が近くなりました。
 ○売り上げの増加 観光客増加、企業や住宅の立地

都市の「成長力」
 アップに貢献！

◆◆企業者の声◆◆

▼ 豊見城道路供用区間



溝那 理事長

【沖縄県土地開発公社】

- 分譲が好調なアパート用地と企業用地に連動し、一戸建住宅も好調な動きである。
- 平成18年8月12日公募した臨空港産業用地等についても、70社が相談会、説明会に参加し、多くの企業からの申込みが期待できる。



長谷川 稔 支配人

【アウトレットモール あしびなー】

- 豊見城道路が整備されたことにより、道に迷ったお客様からのお問い合わせは激減し、開通後の3~10月の来場者数は地元客・観光客ともに増加している。(去年同期比約5%アップ)
- 空港アクセスの向上により、団体バスの立ち寄り大幅に増加している。(去年同期比約33%)



浦野 幹雄 店長

【ヤマダ電機】

- 那覇からのお客様も多くなっており、買い回りの件数も増えてきている。
- 高額商品(パソコン・大型テレビ・デジカメ)等のお話が多い状況である。
- 道路が開通したことにより、今まで知らなかったお客様からの来店がある。

平成18年10月現在

● 豊見城市全国1位

豊見城市が2006年「全国都市成長力ランキング」全国1位。

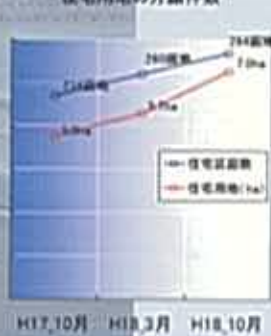
● 「豊崎プランの効果大」

空港から近く立地条件が良い「豊崎」で企業誘致や雇用拡大が向上！

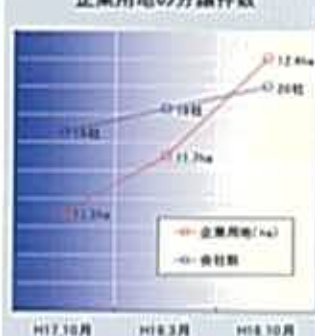
(東洋経済新報社調査より)

▲ 地元新聞「沖縄タイムス」平成18年9月24日朝刊抜粋

住宅用地の分譲件数

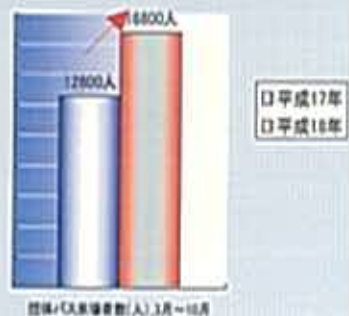


企業用地の分譲件数



沖縄アウトレットモールあしびなー来場者数

33%アップ

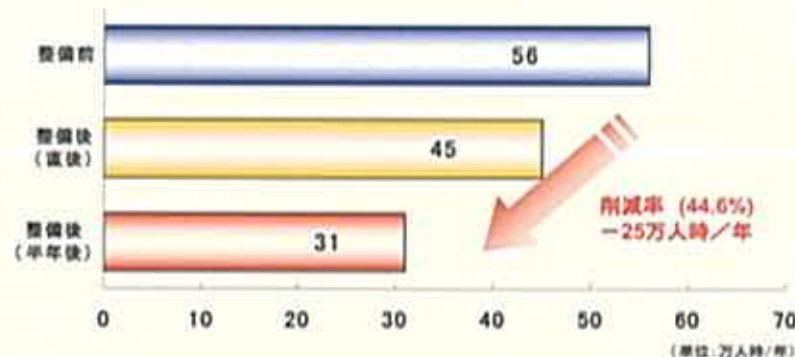


渋滞損失時間は45%削減、二酸化炭素(CO2)排出量は25%削減!!

- 国道331号(豊見城市役所～瀬長)の年間渋滞損失時間は、56万人時/年から31万人時/年へ減少し、約45%の削減効果になる。
- 地球温暖化の要因といわれる二酸化炭素の年間排出量は、5,782トンから4,360トンへ減少し、約25%の削減効果になる。



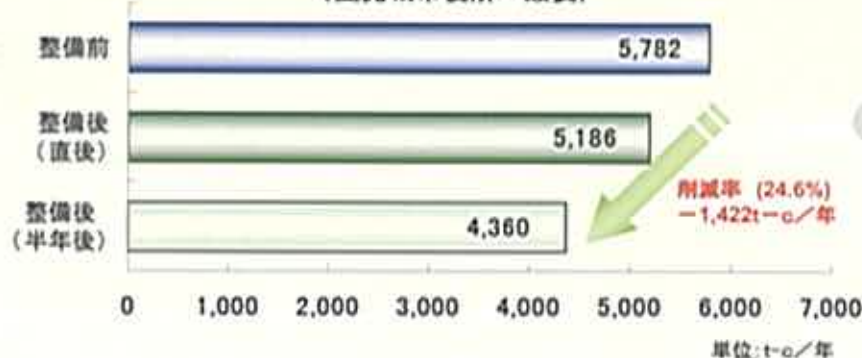
渋滞損失時間



※渋滞損失時間とは渋滞が無い状態下である区間を自動車で走行する場合に要する時間と実際の時間の差

※渋滞損失時間の整備前の値は、「平成17年度確定値」をもとに試算した。

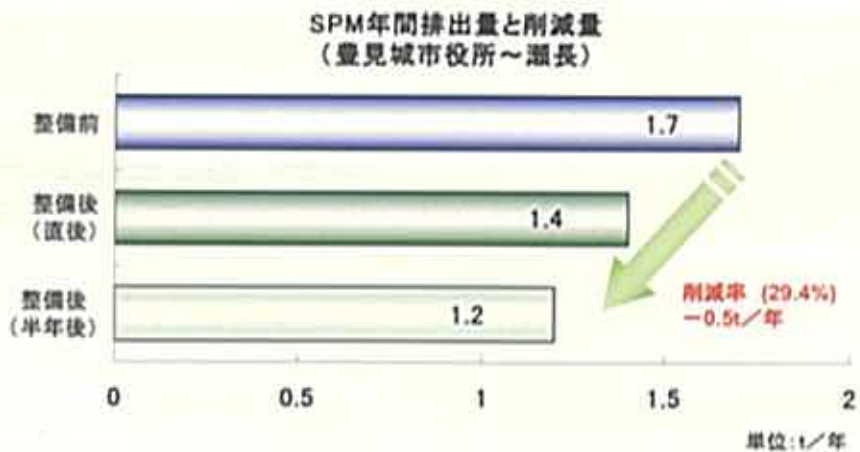
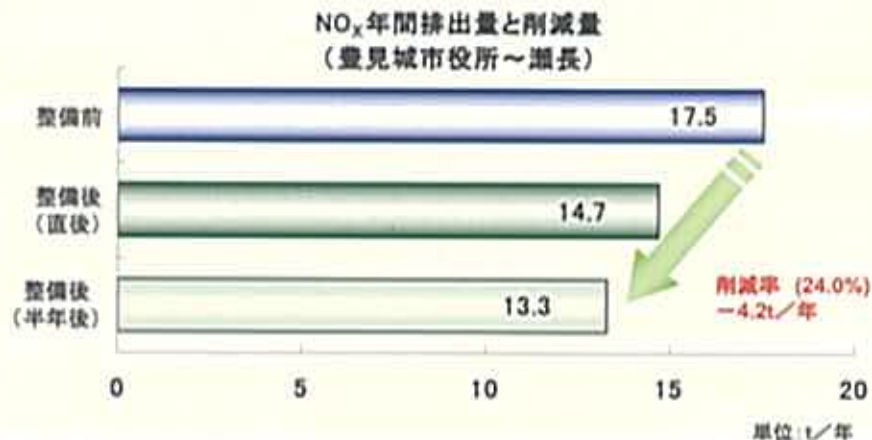
CO₂年間排出量と削減量 (豊見城市役所～瀬長)



※整備前後のCO₂排出量は、実測した交通量、速度データに基づき試算した。

◆ 交通量が減ったことにより沿道環境が改善！
 ◆ 自動車から排出される窒素酸化物は24%削減、浮遊粒子状物質は29%削減！！

- 国道331号(豊見城市役所～瀬長)の窒素酸化物(NOx)の年間排出量は、17.5トンから13.3トンへ減少し、約24%の削減効果になる。
- 浮遊粒子状物質(SPM)の年間排出量は、1.7トンから1.2トンへ減少し、約29%の削減効果になる。



※整備前後のNO_x、SPM排出量は、実測した交通量、速度等に基づき試算した。
 参考資料:平成17年度 道路政策評価通達集 道路広報センター